

ルンバの寄贈

(アイロボットジャパン)

平成30年6月8日(金)

株式会社夢デザイン総合研究所は
プログラミング教育事業において関与



ルンバで掃除時間の短縮を！

平成30年6月8日(金)

アイロボットジャパンは、東京電力福島第一原発事故による避難で児童生徒数が著しく減少し、校舎の清掃が困難になった双葉郡8町村の学校に、同社のロボット掃除機ルンバを200台を寄贈した。

これは、株式会社夢デザイン総合研究所が、ルンバを使ったプログラミング授業を葛尾小学校において企画した際、アイロボットジャパンが提案し実現したものである。

葛尾村教育委員会は、この200台のルンバを、同じ境遇にある双葉郡の8町村で分けようと考え、この日は8町村の教育長も式典に参加した。

寄贈式典中には、「6月8日はルンバの日」であることの紹介、ルンバを使った掃除の便利さ、操作方法などの説明があり、児童生徒は式典後、早速教室でルンバを始動させ、歓声を上げていた。

双葉郡葛尾村立葛尾幼・小・中学校



寄贈されたロボット掃除機ルンバを持つての記念撮影 前列の小学生たちは意外に重いルンバを手にするると少しよろよろ 先生方からは「気を付けて！」の声

およそ300m上空からのドローン映像

(手前緑の屋根が幼稚園 右手前緑の屋根は村役場 奥が小・中学校)

贈呈式当日午前中の葛尾小・中学校の映像

晴天に恵まれ、校庭では中学生がソフトボールの授業を行っていた。この画像は、以前の葛尾中学校校舎上空側から北側方向に向けて撮影している。



アイロボットジャパンは2017年にアメリカのアイロボット社の合同会社として創業した。ロボットが効率よく動く技術などを研究している。将来皆さんとも一緒に研究できるようになることを期待している。(挽野元 社長)

双葉郡の全ての町村に配るために、各町村毎に分けられた200台のロボット掃除機ルンバ。これらのルンバは、カメラ機能が搭載された900シリーズやWi-Fi機能が搭載されている800シリーズなど、すべて上位機種である。

早く使ってみたくて、重くても一生懸命ロボット掃除機ルンバを運ぶ子どもたち。

この後歓声を上げながら各教室でお掃除を始めました。バーチャルウォールやリモコン操作も試していました。